

# 都市再生整備計画 事後評価方法書

## 北の防人大湊地区

平成 27 年 9 月

青森県むつ市

## 目 次

(1) 成果の評価 .....	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況 .....	2
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測 .....	5
(2) 実施過程の評価 .....	6
1) モニタリングの実施状況の確認 .....	6
2) 住民参加プロセスの実施状況の確認 .....	6
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認 .....	6
(3) 効果発現要因の整理 .....	7
(4) 今後のまちづくり方策の作成 .....	7
(5) 事後評価原案等の公表 .....	7
(6) 評価委員会の審議 .....	7
(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定 .....	7
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況 .....	7

## (1) 成果の評価

### 1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

**指標 1 :** 北洋館入場者数 【従前値 : 5,577 人/年 → 目標値 : 10,400 人/年】

#### A : 事前評価時の『従前値』の求め方

①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時（平成 22 年 3 月 31 日時点）
②実施主体	都市政策課（海上自衛隊大湊地方総監部より資料を入手する連絡担当）
③計測手法	海上自衛隊施設である北洋館の平成 21 年度 1 年間の入場者数を、海上自衛隊大湊地方総監部が計測したデータを基に集計し、従前値とした。

#### B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④計測時期	平成 27 年 10 月 1 日時点
⑤実施主体	都市政策課（海上自衛隊大湊地方総監部より資料を入手する連絡担当）
⑥データの計測手法	従前値の計測手法と同様に、平成 26 年度及び平成 27 年度の北洋館利用者数を、海上自衛隊大湊地方総監部が計測しているデータを基に集計する。
⑦評価値の求め方	<ul style="list-style-type: none"><li>計測時点では評価基準日（平成 28 年 3 月 31 日）のデータ入手は不可能である。</li><li>計測時点では全事業が完了していないため、効果が十分に把握できない。</li><li>よって、直近 1 年間（平成 26 年 10 月から平成 27 年 9 月まで）の入場者数を評価基準日（平成 28 年 3 月 31 日）の評価値（見込み値）とする。</li></ul>

⑧確定／見込みの別	<input type="checkbox"/>	確定
	<input checked="" type="checkbox"/>	見込み

#### C : フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑨フォローアップの必要性	<input checked="" type="checkbox"/>	あり
	<input type="checkbox"/>	なし
⑩計測時期	交付終了後 1 年を経過した時点（平成 29 年 3 月 31 日時点）	
⑪実施主体	都市政策課（海上自衛隊大湊地方総監部より資料を入手する連絡担当）	
⑫計測手法	従前値と同様の計測手法を用い、平成 28 年度 1 年間の北洋館入場者数の集計値をもって確定値とする。	

<b>指標 2 :</b>	<b>認識度調査アンケート 【従前値：19.2%→目標値：75.0%】</b>	
<b>A：事前評価時の『従前値』の求め方</b>		
①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時（平成 23 年 3 月 31 日時点）	
②実施主体	都市政策課	
③計測手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象地区内の 4,800 世帯（無作為抽出）を対象とした郵送調査法により、国指定重要文化財の認識度調査を実施した。（回収率 21.7%）</li> <li>・水源池公園内の国指定重要文化財に関する質問（全 10 項目中 6 項目）に対する平均正答率を従前値とした。</li> </ul>	
<b>B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>		
④計測時期	平成 27 年 10 月 1 日時点	
⑤実施主体	都市政策課	
⑥データの計測手法	従前値の計測手法と同様に、同じ内容の認識度調査を実施する。	
⑦評価値の求め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計測時点では、全事業が完了していないため、効果が十分に把握できない。</li> <li>・よって、計測時点で行うアンケート調査の結果を評価基準日（平成 28 年 3 月 31 日）の評価値（見込み値）とする。</li> </ul>	
⑧確定／見込みの別		確定
	●	見込み
<b>C：フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>		
⑨フォローアップの必要性	●	あり
		なし
⑩計測時期	交付終了後 1 年を経過した時点（平成 29 年 3 月 31 日時点）	
⑪実施主体	都市政策課	
⑫計測手法	従前値と同様の計測手法を用い、認識度調査を実施し、その集計値をもって確定値とする。	

<b>指標3：</b>	<b>イベント回数 【従前値：3回/年→目標値：7回/年】</b>	
<b>A：事前評価時の『従前値』の求め方</b>		
①従前値の 基準時点	都市再生整備計画作成時（平成23年3月31日時点）	
②実施主体	都市政策課	
③計測手法	水源池公園周辺における平成22年度1年間のイベント回数を把握し、従前値とした。	
<b>B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>		
④計測時期	平成27年10月1日時点	
⑤実施主体	都市政策課	
⑥データの 計測手法	従前値の計測手法と同様に、イベント回数を把握する。	
⑦評価値の 求め方	平成27年度1年間のイベント回数を、計測時点までの開催回数及び計測時点以降の予定回数より集計し、評価値（確定値）とする。	
⑧確定／見 込みの別	●	確 定
		見込み
<b>C：フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>		
⑨フォローアップ の必要性		あ り
	●	な し
⑩計測時期		
⑪実施主体		
⑫計測手法		

**(1) 成果の評価****2) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測**

<b>数値指標：</b>	<b>観光交流センター（北の防人大湊 安渡館）入館者数</b>	
<b>記述理由</b>	交流人口の拡大が図られたことを表す指標として、新規施設である観光交流センターの入館者数を把握し、目標に対する効果発現を評価する。	
<b>A：事前評価時の『従前値』の求め方</b>		
①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時（平成 23 年 3 月 31 日時点）	
②実施主体	商工観光課（観光交流センター所管課）	
③計測手法	平成 26 年度に完成した施設であることから、事前評価時の従前値は 0 とした。	
<b>B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>		
④計測時期	平成 27 年 10 月 1 日時点	
⑤実施主体	商工観光課（観光交流センター所管課）	
⑥データの計測手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流センターの出入口に設置しているカウンタでの計測により、把握する。</li> <li>・カウンタは、双方向ともに計測するため、カウンタ計測実数の 1/2 を入館者数とする。</li> </ul>	
⑦評価値の求め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計測時点では評価基準日（平成 28 年 3 月 31 日）のデータ入手は不可能である。</li> <li>・計測時点では全事業が完了していないため、効果が十分に把握できない。</li> <li>・よって、平成 27 年 4 月から 9 月までの実測値と平成 27 年 10 月から平成 28 年 3 月までの推計値の合計を評価値（見込み値）とする。なお、平成 27 年 10 月から平成 28 年 3 月までの推計値については、近隣施設である北洋館における平成 26 年度の入館者数のデータを基に推計する。</li> </ul>	
⑧確定／見込みの別	<input type="checkbox"/>	確定
	<input checked="" type="checkbox"/>	見込み
<b>C：フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>		
⑨フォローアップの必要性	<input checked="" type="checkbox"/>	あり
	<input type="checkbox"/>	なし
⑩計測時期	交付終了後 1 年を経過した時点（平成 29 年 3 月 31 日時点）	
⑪実施主体	商工観光課（観光交流センター所管課）	
⑫計測手法	評価値と同様の計測手法を用い、平成 28 年度 1 年間の観光交流センター入館者数の集計値をもって確定値とする。	

## (2) 実施過程の評価

### 1) モニタリングの実施状況の確認

#### A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア  都市再生整備計画に実施することを記載した  
イ  都市再生整備計画に記載しなかった  
ウ  都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

事業中間期にアンケート調査を行い、目標値の達成状況を把握する。

#### C : 事後評価時の確認方法

- ①時 期 交付終了年度 (平成 27 年 10 月 1 日時点)  
②確 認 先 都市政策課  
③確認方法 中間年次である 3 年目 (平成 25 年度) に行った認知度調査結果報告書により確認する。

### 2) 住民参加プロセスの実施状況の確認

#### A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア  都市再生整備計画に実施することを記載した  
イ  都市再生整備計画に記載しなかった  
ウ  都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

対象地区における景観づくりを継続させるための景観ルールを策定するため、市民協働によるまちづくり手法として、ワークショップを開催する。

#### C : 事後評価時の確認方法

- ①対 象 ワークショップの実施状況について確認する。  
②時 期 交付終了年度 (平成 27 年 10 月 1 日時点)  
③確 認 先 都市政策課  
④確認方法 ワークショップの活動記録等により、住民参加プロセスの実行状況を確認する。

### 3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

#### A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア  都市再生整備計画に実施することを記載した  
イ  都市再生整備計画に記載しなかった  
ウ  都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

—

#### C : 事後評価時の確認方法

- ①対 象 —  
②時 期 —  
③確 認 先 —  
④確認方法 —

**(3) 効果発現要因の整理**

①時 期	平成 27 年 10 月～11 月
②実施主体	都市政策課
③検討体制	都市政策課が主管課となり、事業に関する課（商工観光課、教育委員会事務局生涯学習課）による組織を設置し、検討会議を開催する。

**(4) 今後のまちづくり方策の作成**

①時 期	平成 27 年 10 月～11 月
②実施主体	都市政策課
③検討体制	前記と同様、検討会議を設け、ブレイン・ストーミングにより整理する。また、随時電話やメール等で意見交換を行う。

**(5) 事後評価原案等の公表**

	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	平成 27 年 12 月	平成 28 年 3 月
②実施主体	都市政策課	都市政策課
③公表方法	広報への掲載により周知し、都市政策課窓口での閲覧、ホームページへの掲載により公表する予定である。公表期間は 2 週間程度とする。	広報への掲載により周知し、都市政策課窓口での閲覧、ホームページへの掲載により公表する予定である。公表期間は 1 年間とする。

**(6) 評価委員会の審議**

①時 期	平成 28 年 1 月
②実施主体	都市政策課
③設置・運用方法	都市計画審議会により審議を行う。

**(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定**

①聴取方法	—
-------	---

※ (3)～(6) の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

**(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況**

①予算措置の状況	<input type="checkbox"/> ア 費用は発生しない <input checked="" type="checkbox"/> イ 費用は発生するが、予算措置を講じている <input type="checkbox"/> ウ 費用は発生するが、予算措置は講じていない <input type="checkbox"/> エ その他 ( )
----------	---



都道府県名	青森県
市町村名	むつ市
地区名	北の防人大湊地区
計画期間	平成 23 年度～平成 27 年度
作成者	部署 むつ市 建設部 都市政策課
	役職 主査
	氏名 八戸 啓介
連絡先	T E L 0175-22-1111 内線 2743
	F A X 0175-22-9718
	E-mail toshiseisaku@city.mutsu.lg.jp